



# ぬくもり

[平成26年6月15日発行]

輝く人とまち 人 つながる可児 —「参画」と「協働」による“市民中心のまちづくり”

## 思いやりを大切に! (新しくスタートする皆さんへ)



### 〈人に対する YES、NO〉

#### YES 行動 → する

- やさしいことを
- 喜ばすことを
- ためになることを



思いやり

(思いやる育みは、やさしさを生む)

#### NO 行動 → しない

- 不幸に
- いやな思いに
- 心身を傷つけ



勇気と努力

(勇気と努力は、輝く人となる)

本センター会長 岡部洋治

本年度より、杉山桂前会長の後任を務めさせていただきまます岡部です。

微力ではありますが、前会長の思いを引き継ぎ努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

人権は、「人間が人間らしく幸せに生きていくための権利」と言われます。私たちの周りには、不条理なこと、道徳的に反すること等を多く見かけます。

本センターは、人がいる限り活動が必要となり、人権の発信をつづけることに意義があると思えます。

今、本センターは、「そばにある人権」を掲げ、身の回りの一人一人の心情を理解し、寛容な付き合いが広がることをめざしています。

皆様と共に活動してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

### 新年度スタートにあたり

#### 今年の人権・ホットメモリー

- 国連「子どもの人権」の歴史的な記念の年
- 児童の権利ジュネーブ宣言 90周年 (1924・9・26)
  - 児童の権利宣言55周年 (1959・11・20)
  - 「子どもの権利条約」の採択 25周年 (1989・11・20)
  - 日本「子どもの権利条約」批准発効20周年 (1994・5・22)

### 目次

- 新年度スタートにあたり ..... ①  
本センター会長 岡部洋治
- 平成26年度の活動と25年度報告のあらまし ..... ②
- 特集:「子どもの人権」について① ..... ③
- コーナー ..... ④  
  - ある日その時
  - 可児ぬくもりネットだより
  - ぬくもり標語・300字小説募集
  - (マンガ)ぬくもりまゆちゃん⑤・他

発行

可児市人権啓発センター(可児市総合会館分室内)  
〒509-0203 可児市下恵土5166-1 TEL/FAX 0574(63)7990

ホームページ

可児ぬくもりネット

検索

アドレス <http://www.kani-nukumorinet.jp/>

# 平成26年度の活動と25年度報告のあらまし

**目標** 啓発人口 7,500名／年

(本センターの活動に関わり合った人数)

**重点**

「和み・生きあつての育み」・  
「気づきあいの心」を!  
(地域・企業と子どもの人権教育の充実)  
～大人たちのぬくもりある自覚から～  
未来ある子どもの育みを!!

**理念** 人は差異・多様ゆえに認め、学び合う人間主義で!

## 人権相談



コーディネートします!

## 人権本巡回制度 (ぬくもりボックス・フロー)

- ぬくもり本(人権本)を巡回
- 小学校2コース
- 児童用/教師用:同時
- 1ヶ月毎・巡回
- スタート:5月～

読者しおり差上げます。

## ぬくもり演劇会



(平成25年度)水澤心吾 一人芝居  
杉原千畝物語「決断」命の別

## 学校・企業啓発



・人権教育  
・同和教育

## 地域・家庭啓発



家庭教育学級等

## 街頭啓発活動

市民対話(市長等が率先)



## (第3～4回)ぬくもり教室

ソウ「ゆめ花」書「人権」をツールにして



・土田小学校  
・東明小学校  
児童・先生約300人

## 研修会/リーダー会等



(年4回位)  
役員・推進員/研修・運営

## まんが「ぬくもり物語」創刊

人権に寄与することを取材してマンガ化した下敷等を作成。



## ぬくもり標語・300字小説募集



市役所ロビー又、市図書館掲示

## 機関紙発行(ぬくもり)

(全戸配布・年三回)



人権4コマまんが「ぬくもりまゆちゃん」入り

## 「センターだより」発行(随時)



## ホームページ

- 文字大きさ大・中・小変更可
- ぬくもり日記
- 行事案内・募集
- 今週のビタミン
- センター紹介
- ぬくもり4コママンガ!

継続発信(約週一回編入有)



## 平成26年度「主事業」案内

～皆さまの「そばにある人権」を大切にします!～

### 子どもぬくもり教室



象の「ゆめ花」の書いた「勇気」をツールにした企画で小学生を対象として実施。

- ・対象学年 小学校中学年(3～4年生) 学年対象(約100名程度)
- ・実施校:2校程度(抽選)
- ・所要時間:40分位
- ・実施期間:10月、11月(予定)

### 「可児市民人権意識調査」の実施

(概要)

- ・調査人員:1,000人(男女:各500人)
  - ・調査期間:8月1日～8月15日
  - ・調査項目:前回15項目
- (前回新追加3・今回+1予定)



★本調査は、平成3年以降、4年に1度実施し、活動のデータとしています。

### 「ぬくもり講座の開催」

- ・「人としての生きがい」等の平易のテーマで人権を考える講座。
- ・適した講師を予定。
- ・12月の人権週間5日または6日予定。



### 公民館啓発活動

〈公民館まつり〉(予定)

- ・中恵土公民館(11月2日)
- ・下恵土公民館(3月1日)

### 配布物

- ・ぬくもりデザインティッシュ
- ・ぬくもりカード等

# 特集

## 「子どもの人権について」①

～子どもの権利を考える～



### (背景)

- ・ 本年は、この表紙にあるように子どもの人権を考える歴史的な年です。
- ・ 子どもたちへの道徳の教科書化も検討されています。
- ・ 国内外での子どもの迫害・誘拐また虐待等多くのことが起こっています。

### <大意>

- ★「国は、人がいてこそ成り立ちます。その構成は、<子ども：18歳未満>・<大人：青年・壮年・老年>の人がいて、それぞれの生涯の繰り返しの中で存続しています。
- ★特に生れ出て間もない子どもは、どうしても生きる社会経験や知識その上、知恵も他に劣ることになります。大人による支えが必要となります。
- ★しかし、子どもには、幸せに生きていくためにどのような権利があるのかを、小さい時から育むことが必要なのです。子どもが大人になるまで、大人たちの誰かがかわり育む責務があります。

### <責務>

- ★その1番の責任者は、子どもを生んだ両親であり、そして家族です。その上で国・市の行政(役所・学校・関係団体)であり、地域の住民等です。
- ★大人になるまで、親の言うことを聞けというのは、間違いなのです。なぜならば、大人になっても自らの権利を知らなければ、いじめ等で自分の人権を侵害され、相手に利用され、最悪、犯罪に巻き込まれないとも限りません。少年犯罪の多発は、こうした権利の育みが不足しているとも考えられるからなのです。
- ★では、どういったことを育てていったら良いかです。

### <子どもの権利について>

1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」の大綱を見てみましょう。学校・行政機関は、特に内容を忌憚なく子どもに教える義務が法律で規定されています。

- ★4つの子どもの権利 — 大きく4つの権利に分類されます。(大人の責務でもあります)

- ① **安心して生きる権利** …… 気よく暮らせる権利(・どんないじめや差別も受けない・病気の時は、医者に診てもらえる)等があります。
- ② **守られる権利** …… まわりの人が守ってくれる権利(・ひどい言葉や暴力から守ってくれます・困った時は、相談できる所があります)等
- ③ **のびのびと育つ権利** …… 思ったことができる権利(・自分のことは自分で決められる・遊んだり、勉強したり、運動したりいろんなことに挑戦できます)等
- ④ **参加する権利** …… 一緒に集まったり意見を交わしたりして、あなたの言うことも大切にされます。またそうした所に参加できます。等の権利

世界で一人しかいない大切な次世代の宝を  
あなたとわたしで育てていきましょう！



次号は、子どもの権利の内容を、子どもにもわかるように解説をします。

# 桜の時代



## 「桜で心の交流を為した人たち」のこと

桜は春を、そして日本を象徴する花である。人はその桜のもとで、出会いと別れの縁を結ぶ。代表種は、「ソメイヨシノ」である。江戸の染井村(東京都豊島区駒込)で育成された。日本の国花は、菊であるが桜も同等扱いらしい。  
その昔の日本の話である。

### (その1) 日本で初めて桜を米国に送った人

●尾崎行雄(号堂)ー東京市長(9年務め)  
(衆)議員63年間・94歳まで務めた。憲政の父(神様)と呼ばれる人である。今年で没60年になる。

尾崎は、明治45年(1912年)市長の時に米国(ソメイヨシノ)の苗3000本を贈りボトマック河畔に植樹され、米国から返礼にハナミズキを頂く。毎年、全米桜祭りが行われ日本の代表も行き交流を重ねている。

### (その2) 中国に植樹されたソメイヨシノを周恩来総理が守った!

戦時中、日本軍が中国に多くの桜を植えたが、戦後反日感情のもと、切り捨てようとしたのを周恩来は、「桜に罪はない」として戦員は、戦犯人ではないといひ、切られなかったという。現在も見事に咲く武漢大学の桜のことを知っているだろうか。

### (その3) 可見市立東名小学校の北門のそばに立つ「命の桜」をご存知だろうか。

「命を大切にしよう」との伝統になったソメイヨシノの桜である。

★桜は、親善の使命を担って美しく咲き誇っている。1800年を超える樹齢をもつ桜(神代桜)もあり、人の平和な交流を見つけてくれているのです。

## めぐもりまゆちゃん

(人のマネはしなくていい!)  
作: ぎん / 画: miho



(本作品は、全て本職員でつくられています)

## 心の響き 可児めぐもりネット だより

(本センターホームページ) (今週のビタミンから)

### 人権の輪を大切に

今週(SUMMER) 投稿日: 2013年12月13日編

毎年、世相を標榜する言葉が発表されるが、今年は「輪」という文字となった。それは、東京五輪決定・富士山の世界遺産決定・サッカーワールドカップ出場決定等のわくわくすることが、多くの人の力で成し遂げられたからという。  
また、震災・大島等の災害での援助協力も、「輪」の結果だとも言う。  
「輪」は、車編に命と書く、命は、人間の問柄を順序よくあつめる意があるというから、ネットワークの有る関係を見立てて「輪」と言うことである。  
人間は、一人では生きられないのであるから、皆で手を取り合っていくことは尊いことである。「人の輪・ありがと」の輪・平和の輪・友好の輪・人権の輪」等、輪の響きは心に染み入る言葉なのである。  
本センターの本年度の人権標語の応募入選作品の中にも一言を 伝える勇気 絆の輪」と言う作品があった。輪を作るにも勇気がいることを示してくれていた。  
新年も互いに手を支え合いながら人権尊重の平和で安穩の輪を揚げたいものである。

## 募集 「標語1000字小説」

- テーマ 「道徳」善悪・正邪等に対しての、人としてのめぐもりを感じられる文面と言葉 (小説は会話をいれること)
- 応募資格 市内在住の人 (小中学生)(高一 般)
- 応募方法 はがきの表に住所・氏名・電話、裏に作品(小説1点、標語2点まで)
- 応募期間 7月14日～9月26日(消印有効)
- 入賞作品数 標語約30点・小説約7点
- 入賞発表 11月初旬本人通知
- (小中学生は、学校から)
- 作品展示(入選) 人権週間(12月5日～10日) 市役所ロビー等で展示。 また機関紙「めぐもり」等に掲載
- \*入賞者には、表彰状と図書券を贈呈 \*小中学生は全て(応募)学校から
- あて先 本センター宛(本表紙ご参照)

### 編集後記(啓発のみかり)

○春は種まきの季節です。良き苗は、良き草木に育ちます。それには、土づくりが大切です。  
○肥しの一つに腐植土があります。腐植土は、ラテン語で「humus」であり人間性(humanity)の語源といわれています。自分自身は、土壌の肥やしとなり人に花を咲かせてあげよう」と人のために尽くす意だといわれます。  
○「心の土壌づくり」で差別はNOの感覚や知性づくりから始まり、「心への種まき」で、正しい情報で理解と認識を深め「水やり・草取り」で差別を見抜き、抜き取りをして、他人を思いやり美しい花を咲かせたいものです。  
○昨年度まで本センターで永く活躍された皆様(杉山・山口(征)・齋・大崎・玉置・市野・山口(勝)・木村・大野・渡辺(二)・石井・奥村)に心よりお礼を申し上げます。新たなスタッフの方々も、市民の心が一層めぐもりに包まれるように頑張ることを決意されておりです。  
(編集者: 川手靖彦)